

商大 トピック

Topic 1

孔子学院業務提携協定を調印



「岡山商科大学孔子学院」は中四国地域における中国文化の窓口として、日本と中国の教育分野における協力強化と両国の相互理解及び友好を深めることを目的として中国政府からの設置認可をいただきました。岡山商科大学と大連外国語学院大学との提携、協力によって中四国地域では初、日本国内では8番目の孔子学院として誕生しました。

昨年(2007年)の11月25日(日)に孔子学院業務提携協定調印式並びに開設式典を開催、大連外国語学院大学 孫玉華学長をはじめ、中国政府関係者、岡山県副知事ほか財界関係者のご臨席を賜り盛会となりました。井尻学長からは「アジアのリーダーとして、本学孔子学院が中国文化の学習の拠点となればと考えている」との挨拶が述べられ、本学孔子学院はスタートしました。

Topic 2

孔子学院世界大会へ参加

第2回世界孔子学院大会は昨年の12月11日、北京で開催し、64の国・地域に立置している210の孔子学院の代表ら1000人余りが参加し、学校を設立・運営する経験をめぐって交流しました。

中国の陳至立国務委員(孔子学院本部理事会主席)は、孔子学院大会開幕式の席上で、「共に孔子学院を適切に運営し、相互の友情と理解を深める橋を架ける」という題で基

調講演をし、中国教育部周済部長(孔子学院本部理事会副主席)は第2回孔子学院大会事業報告をしました。そのほか、孔子学院代表(6名、1人5分程度)はそれぞれの孔子学院の事業や成果などについて報告しました。最後に2007年度優秀孔子学院の授賞式が行われ、20カ所の孔子学院は選ばれ、日本の孔子学院の中から立命館大学孔子学院が選ばれました。



孔子学院の設立活動が2004年に始まって以来、急速に発展しつつあります。去年、第1回大会が北京で開かれた時、36の国と地域で80カ所の孔子学院が設立され、その後、わずか1年間で、さらに28の国と地域で130カ所が増設されました。

すでに事業を開始した孔子学院では、各種の中国語講座のほかに、中国教育、歴史、文化、経済貿易等に関する講演会、展示会、演出活動も盛んに行なわれています。

今後の課題として、教師や教材不足の解消、教育方針の改善、特色のあるプログラムの開発などが挙げられます。

(商学部 招へい准教授 黎 曉妮)

Topic 3

孔子学院開設記念 講演会・中国語講座開講



本学孔子学院の開設を記念し、2008年1月15日(火)に「中国経済の現在と未来」—在北京日本大使館公使が見た中国経済—と題し神戸大学経済学部教授・元中華人民共和国日本大使館公使の加藤弘之氏による講演会を開催し、多方面から多くの方々にご参加いただきました。現代中国の発展の分析

など講演そのものの興味深さもさることながら、講演後の質疑応答においても活発な議論が交わされました。また、本講演会の様子は翌日の山陽新聞に会場の写真とともに掲載されました。

同日には、中国語講座の入門クラスが開始され、年齢性別に垣根のない生徒たちが熱心に中国語の勉強を開始しました。それを受講した生徒たちからも、講座を担当された黎先生からも満足した言葉を聞くことができました。

また同時に、出張中国語講座も実施しており、企業へ出向いての無料講座(3月まで)を行っており、現在1社から依頼を受けています。

4月からの本格始動に向けて「中国語教育」「市民向け文化イベント」「学術文化」「留学プログラム」「各種コンサルティング」等事業について検討しており、詳細については今後ホームページ等でご案内していく予定です。



2月7日の春節(旧正月)を祝った

Topic 4

大学機関別認証評価 実地調査

2007年11月18日(日)から同20日(火)までの3日間にわたって、日本高等教育評価機構の評価チームによる実地調査が実施されました。

第2日目には午前11時から大学関係者との顔合わせの後、学内視察、大学責任者(理事長・学長)との面談、基準ごとのブースに分かれての大学関係者(教職員)との面談がありました。

第3日目の午前中は、引き続き大学関係者との面談が実施された後、学生との面談も予定どおり行われました。午後は、とくに評価員から要望のあった教職員との追加面談があり、午後4時頃予定どおり終了しました。

(副学長 山口博幸)

Topic 5

おかやま信用金庫との「産学連携に関する包括協定書調印式」について



岡山商科大学とおかやま信用金庫は、地域における互いの情報及びノウハウを結び付けること等を通じて相互の連携を強化するための包括協定書への調印を2007年9月28日(金)に行いました。全産業の6割を占めるサービス産業分野における企業等の有する問題、課題を解決し、もって地域の発展に貢献することを目的としています。

現在は人材育成面での協力を積極的に行っており、おかやま信用金庫理事長桑田真治氏には、ボランティアプロフェッサーとして本学の講義にご登壇いただきました。また、本学からは2008年1月18日(金)に開催された「おかやま信用金庫マネジメントサポーター養成塾8日目」に大崎副学長、小松原教授、川合社会総合研究所次長を派遣、産学連携に関する講義を行いました。なお、同日の養成塾に参加した方は今後、岡山商科大学認定産学連携アドバイザーとして活躍することが期待されています。

他にも、おかやま信用金庫が開催するビジネス交流会等にも参加し、企業からの相談を受け付けることで、大学の持つ社会科学分野における専門知識を有効に活用しています。

Topic 6

「産学連携に関する包括協定書調印式」ならびに「共同研究契約調印式」について



岡山商科大学では、2007年4月の産学官連携センター設立以来、社会科学分野における産学官連携を積極的に取り組んできました。2007年9月28日(金)には、共同研究の申し込みがあった県内の4企業との間で共同研究の契約を結びました。

1. 株式会社アスワン「アミューズメント・サービス産業に関する研究」、研究代表者・田中潔(商学部教授)
2. 株式会社プロツアー・スポーツ「HPでの商品販売に関する研究」、研究代表者・小松原実(商学部教授)
3. 社会福祉法人泉学園「社会福祉法人における経営システムに関する研究」、研究代表者・川合一央(商学部講師)
4. 浅野産業株式会社「暮らしのポータルサイトの構築に関する研究」、研究代表者・小松原実(商学部教授)

研究内容はWebマーケティングに関するもの、経営に関するものなど社会科学系の大学ならではの研究分野での産学連携となっています。その中でも社会福祉法人泉学園については、「おかやましんきんビジネス交流会」がきっかけとなつての申し込みであり、幅広い産学連携の成果が現れてきていると考えられます。

今後、ますます社会科学分野における共同研究が増えることで、企業や地域社会の発展につながっていくことが期待されます。

Topic 7

第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア岡山2007」



2007年11月2日(金)から11月6日(火)にかけて、第19回全国生涯学習フェスティバル(まなびピア岡山2007)が開催されました。

全国生涯学習フェスティバルは、学習活動や学習成果の発表の機会と場所を提供することで、国民の生涯学習の意欲を高め、学習活動への参加を促進し、学習活動を盛んにするためのイベントとして、毎年各県持ち回りで開催されています。

本学は、展示ブースにおいて、社会科学分野に関するパネル展示とパワーポイント資料での紹介を行いました。また、商学、法学、経済学の学問領域を共通するテーマで説明した資料を配付しました。また情報系として、パソコン制御のラジコンカーと手動操作の移動ロボットを展示し、来場者に操作を行ってもらったことで、小中学生が多く集まりました。このほか、11月3日(土)には県施設「きらめきプラザ」において、教養講座「暮らしの教養アカデミー」を開催し、井上倫明教授による「健康づくりと運動」、今井成男教授による「日本人の観光旅行～現状と将来～」、蒲和重准教授による「アジアでのビジネス」というテーマでの3講座を実施しました。また、中国の文化を伝えるテント展示(※キャンパスキャンパスに関連紹介記事)も行いました。

多くの方々の協力により、大会趣旨にある「全ての世代が学びを体験し、その楽しさや大切さを理解すること」に添ったコンテンツが十分に提供できたと感じています。

Topic 8

2007年度「商大生新庄村まるごと体験ツアー事業」について



2007年度も新庄村との「包括協定」に基づき、「商大生新庄村まるごと体験ツアー事業」を実施しました。(10月19日～21日)センター設立3年目となりますが、この事業も3回目となり、本学では、すっかり定着した事業となりました。この事業では、本学の学生を新庄村に派遣して、新庄村の自然に触れたり、村民の方々との交流などを通して農山村に対する学生の理解を深めるとともに、学生の視点で新庄村の「村づくり」などに対する提言を行うことなどを内容としております。この事業を通じて学生の農村に対する理解と自立心を養うと同時に、新庄村の住民の方々への地域に対する「再発見」の機会になれば、と考えています。

昨年度は、新庄村の子ども達との交流をメインテーマとして「ぼくたち・わたしたちの村」学習会を、学生たちが企画して実施し

ました。今年度は、新庄村のさらに「深部」に入り、集落レベルでの「学生フィールド調査」を実施し、住民との交流をさらに深めました。このような活動を通して、学生達が成長する姿に接することは、楽しいことです。この事業は、本学の「特別単位認定科目」として取り扱われます。来年度も学生達の積極的な参加を期待しています。

(地域再生支援センター長 多田憲一郎)

Topic 9

国際文化交流事業に参加して



2007年11月23日(金)から12月2日(日)にかけて、コスタリカ、キューバにて行われた国際交流基金主催日本文化紹介事業「武道デモンストレーション・指導」に参加しました。

文化交流を通して諸外国に日本の理解を深めてもらうことが目的であり、剣道、居合道及び本学教授 大谷崇正、教務課 竹内藤一郎、図書課 菊川頤が講師を務める古武道が参加しました。

最初はコスタリカの首都サンホセで、形や演舞を披露し、その後それぞれの武道ごとに地元や周辺の国々から参加した経験者に指導を行いました。参加した人たちはとても熱心で、共に汗を流しました。キューバでは首都ハバナで一般市民向けにデモンストレーションを披露しました。そして、各武道に分かれ経験者や競技者に指導を行いました。

サンホセは岡山市と姉妹都市関係にあります。距離は遠いですが、今回訪れたことでより身近になりました。キューバでは、カリブ海を臨む町並みや陽気な人柄などラテンの雰囲気を感じることができました。

今回の交流事業を通じ様々な経験ができました。両国の文化に触れ、また日本の文化を紹介することもできました。そして何より、異なる国や文化であっても、お互いに理解し尊重し合える関係を築いていくことが大切だということを知りました。

(図書課 菊川頤)

Topic 10

学術講演会 「どこへゆく21世紀の地球」



2007年11月13日(火)、岡山商科大学学会の主催により、北海道大学公共政策大学院教授・石 弘之氏をお招きして、「どこへゆく21世紀の地球-21世紀の環境と人類の危機-」と題する講演会を催しました。

講演では、前世紀において科学技術の進歩により生活の様々な局面で利便性が飛躍的に向上した反面、重労働による人権問題にとどまらず、深刻な環境問題を生じたが、今世紀に入っても基本的にはその状況は変わっておらず、むしろ自然災害の増加をもたらし、また南北問題と絡んで一層複雑なものとなっていることが語られました。

今後も、エネルギー資源の枯渇など深刻な状況が予想され、なかでも地球温暖化の問題は喫緊の課題であるとされました。温暖化に対する取り組みも進められているものの、さらなる世界人口の増加に鑑みれば悲観的な見通しをせざるを得ず、人類の叡智がまさに試されていると聴衆に訴えました。なお、講演会には学外の環境系NPOにもご参加いただきました。

(法学科 講師 下田大介)

Topic 11

情報教育センター講演会 「金融革新のメガトレンド」



2007年4月産学官連携センターの発足を記念して教育情報センターでは、2007年12月3日(月)、長崎大学教授川村雄介氏を招き、2007年の金融トピックスである、サブプライム問題、金融商品取引法を中心

テーマとした講演会を開催しました。講演の主要内容は次の通りです。

①20年前のブラックマンデー、10年前の金融危機と比較した場合の今回のサブプライム問題の性格、②サブプライム問題の原因(証券化、世界的資金余剰、格付けやリスク管理の甘さ等)、③日本における新しい証券化の動き、④金融商品取引法制定の背景、特徴、意義、⑤リスクキャピタルの円滑化と活性化、⑥日本の振興市場の課題と対策。主要な参加者は、地元金融機関をはじめとする社会人の方々でした。10分余の質問時間を含め、約2時間、金融界の第一人者から金融トピックスについて一般的には聞くことのできない内容まで聞くことができた意義深い講演会でした。

(情報教育センター長 河野快晴)

Topic 12

ベストプラクティス賞



佐井教授(左)とダウディング教授(右)

恒例となった「年忘れ懇親会」が2007年12月5日(水)ホテルオークラ岡山で開催され、その席上、「ベストプラクティス賞」の表彰が行われました。

「ベストプラクティス賞」とは、学生による授業評価アンケート実施結果を活用して岡山商科大学自己点検・評価委員会によって作成された学内GPランキングにおいて最上位を占めた教員を表彰するもので、今回は、ピアズ・ダウディング教授(商)、佐井至道教授(経済)、竹本昌和講師(兼任)の各教員が受賞しました。

Topic 13

永年勤続表彰

奥田寿生 図書課係長が20年勤続の表彰を受け、井尻学長から表彰状と記念品が贈呈されました。(2007年12月5日 ホテルオークラ岡山)



キャンパス キャンパス

商大・学生魂ここにあり!

陸上競技部第25回津山駅伝競走大会で6連覇!

●法学部法学科2年 結城直哉



6連覇でフィニッシュする片山祐樹選手(商2)

本学陸上競技部は、2007年11月18日(日)に実施された津山競技場を発着とする第25回津山駅伝競走大会において6連覇を成し遂げることができました。

5年連続優勝で臨んだ今回は、1・2年生中心の新チームで経験も浅く、また連戦連戦で故障者も多く、不安を感じながらの挑戦でした。そんなプレッシャーの中、先輩たちが積み重ねてきた歴史を崩したくない一心で襷をつなぎ、私たちの目標だった6連覇を達成できたことはひとしお嬉しく思っています。

今年度もまだまだ「丸亀ハーフマラソン」や「日本学生ハーフマラソン」、そして全国高校駅伝入賞校倉敷高校を倒し2連覇のかかった「えびす駅伝競走大会」などの大会が残されています。この結果に満足することなく、監督、コーチと一丸となって精進努力していきたいと考えています。来年度は有望な新人が多数入学する予定です。本大会7連覇は勿論ですが、全日本大会出場、そして目標は大きく入賞を目指して頑張っていこうと思います。

学友会本部・学内献血について

●学友会本部・会長 法学部法学科 1年 西 優輝



我々、学友会本部はボランティアの一環として学内献血を実施しています。

学内献血の目的は、身近に出来るボランティアの1つとして、商大生に献血に協力してもらって、ボランティア精神を持ってもらうこと。そして、献血の必要性や重要性を訴え、理解を深めてもらうと共に若年層の献血離れを防ぎ、未永く協力してもらうことによって、1人でも多くの血液を必要としている人を救い、尊い命を守ることを目的とするものです。

ですが、ここ近年の参加人数に関しては資料や先輩方の話からに

よりますと、伸び縮みはありますが、年々と減っています。これは、少子化の問題もあれば、誰かがするだろうなどという安易な考えのせいだと思います。今一度、我々、学友会本部が学内献血を行っている意味をよく考えてみてください。もう1度、皆さんの力で尊い命を助けていきましょう。

まなびピアに参加して

●国際観光学科 4年 曹 婷婷



2007年11月2日(金)、待ちに待った「第19回全国生涯学習フェスティバル(まなびピア2007岡山)」が開会されました。私たちの展示テントでは中国の大連、安徽省の黄山の写真、また中国でとても有名な芸能人の映画を紹介しました。大勢の人が訪れ、中国に大変興味を持っていただけたことは、留学生としてとても嬉しいことでした。

また、まなびピアではさまざまな分野の展示があり、私たち自身も普段では体験できないようなこと、今まで知らなかったことなど多くの学習ができて大変良かったです。個人的には深海に生息する生き物や南極の自然についての展示が一番印象に残りました。

今回のまなびピア参加で一番の感想は、私たちみんなで準備した展示を多くの人を見て、考えてくれたことが嬉しかったことです。これからもこうした活動が盛んに行われることを期待します。

大学祭 ギュッと凝縮商大フェスティバル2007

●大学祭実行本部委員長 商学科2年 佐藤 玲



今年、私たち大学祭実行本部は「ギュッと凝縮商大フェスティバル2007」というテーマを掲げました。3日間から2日間に短くなった期間、しかし、内容は変わらずに…いえ、それ以上にしようじゃないか。そんな思いからこのテーマに決まりました。実行本部の人数の減少というのは想像以上に大きな痛手を負いました。

その痛手を感じさせない実行本部役員のがんばりを私は、現場で見っていました。一人ひとりが、大学祭実行本部全体のチームワークは大学祭成功を実現させました。

もちろん、他本部をはじめ、サークルの方々、地域の方々の協力がなければ大学祭を行うことはできませんでした。私たち大学祭実行本部はいろいろな方々に支えられて活動し、大学祭を成功させることができた喜びを得ることができています。

「ギュッと凝縮商大フェスティバル2007」このテーマでみなさんと一致団結して大学祭を運営できたことはこれからの私たちにとって大きな財産になりました。また来年、再来年とこの経験を生かして、よりよい大学祭を開催できるように大学祭実行本部は進化していきます。

サクセスを勝ち取ろう!

就職 便り

Okayama Shoka University

リクルートスーツ講座開催



昨年11月28日(水)4限目に毎年恒例のリクルートスーツ講座をはるやま商事株式会社から法人部長佐藤寛司様はじめ人事担当者の方3名を講師としてお迎えして開催しました。本講座は就職活動がスタートする3年生を対象とし、就職活動のためのスーツの選び方、着こなし方をはじめ、人事担当者からのアドバイスといったこれから就職活動をする学生にとり非常に役立つ内容であったと思われます。

参加者は「就職売り手市場」と言われる昨今の状況を反映して、楽観視しているのか対象学生の2割程度でした。実際には、マスコミから伝わる売り手市場とは様相が違い企業の求人意欲は高いものの厳選採用の傾向は強く、安易に考えている学生には厳しい状況です。

就職課が主催している講座等々はそれぞれ意味があり、就職活動および就職後、社会人として活躍できる人材の養成のためにも大いに役立つ内容です。積極的に参加されることを期待します。

合同企業説明会バスツアー・ 学内合同企業説明会開催

就職活動がスタートする3年生を対象とした「合同企業説明会バスツアー」・「学内合同企業説明会」を本年度も下記のとおり実施しました。近年、企業の採用活動時期が早まり、採用意欲が高まっている中、3年生の段階で多くの学生が希望職種、希望企業を見出せない状況にあると思われます。そこで、少しでも多くの企業に接する機会を設け、自分の目、耳で企業を確認し、ミスマッチのない企業選択、職種選択をされることを願い、毎年、企画し実施しております。例年、この企画への参加を機会に希望企業、希望職種を見出し、内定に繋がるケースも多く、学生にとり大きなチャンスであります。ただ、積極的に参加する学生と全く参加せずのんびり構えている学生に分かれており、2極化が鮮明に現れております。企業の採用意欲は高いものの、「採用基準は下げない。」と言われる企業が多く、積極的な学生には好結果が消極的な学生には厳しい状況になっております。

学生の皆さんが卒業後の長い社会人としての人生を、生き生きと過ごせるかは、この時期の過ごし方に大きく影響されるものと思われます。自ら行動を起こさない限り、希望をかなえることはできません。就職環境の好転した今、大きなチャンスを逃すことなく積極的に行動されることを期待します。

<合同企業説明会バスツアー>

	開催日	開催場所	参加企業数	主催	本学学生参加人数
1	平成20年 1月31日(木)	広島 サンプラザ	101社	(株)毎日コミュニケーションズ	65名
2	平成20年 2月5日(火)	京セラ ドーム大阪	226社	(株)リクルート	50名
3	平成20年 2月14日(木)	修道大学	20社	全国私立大学 就職指導研究会	20名

<学内合同企業説明会>

	開催日	参加企業数	参加学生数	備考
1	平成20年2月4日(月)	190社	150名	
2	平成20年2月25日(月)	10社 (岡山県内信用金庫7 及び取引企業3社)	未定	岡山県信用金庫協会との協定により開催
3	平成20年3月7日(金)	140社	未定	

※平成20年2月20日現在

赤い羽根共同募金に参加して

2007年10月1日(月)、「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まりました。運動初日には、岡山駅前広場でオープニングセレモニーが行われ、藤本道生県共同募金会長が「皆さんの温かい心で活動が支えられており、今年も協力をお願いします」とあいさつしてから、駅周辺で学生ボランティアらが通行人に募金を呼びかけ、賛同者の胸に赤い羽根をつけた。

私達は岡山商科大学を代表して、運動に参加しました。初めて募金運動のボランティアをするので、最初は恥ずかしくて、呼びかけにくく、募金箱を掛けて賛同者を待っていただけでした。その時、ボランティアの山本さんという方から声を掛けられました。「私の母は障害で、体が不自由になってもう18年で、介護費用が高くて生活が段々苦しくなりましたが、10年前から、赤い羽根共同募金の応援金をもらいつづけてきて、本当に助かりました。皆さんは良いことをしているから、元氣出してね。」と教えてくれました。突然、心が温かくなりました。自分をもっと努力すれば、人をもっと助けることができると思って、やる気がどんどん湧いてきました。

最終的に、賛同者から合計1250円の募金をいただきました。少ないですが、自分が頑張りましたから、後悔はありません。その温かさもずっと心の中に残っています。

(国際観光学科 4年 曹 婷婷)



税理士特設講座と川上都子税理士の論文について

税理士特設講座は、本学大学院法学研究科が開講している特設講座です。本講座は、税理士として活躍されている方を対象として、平成15年度、「租税訴訟の補佐人制度に係る税理士特設講座」として開講され、現在まで延べ60人が受講されました。平成20年度からは、「岡山商科大学大学院特設講座」として再出発し、「租税実体法」「租税手続法」「租税訴訟手続請求」科目が開講される予定です。

この特設講座を平成16年度・平成19年度の2回受講された広島県西条支部所属の川上都子税理士は、大学院専任教授・石島弘教授のも

とで指導を受けたのち、特設講座修了論文「離婚による財産分与を資産で行った場合の譲渡所得課税について」を寄稿し、日本税理士学会「税法学667号」(2007年5月31日刊行)に掲載されました。さらに特別寄稿として中国税理士会報「NO.525」(2007年10月10日刊行)にも転載されるなどの活躍をされています。

これからも税理士特設講座受講者のますますの活躍が期待されています。

エッセー
数珠つなぎ

「日に新た」

「苟日新、日日新、又日新」は、中国の古典・「四書五経」の中の「大学」を出典とし、中国最古の王朝・殷の湯王の自戒の句でもあります。これは、「まことに日に新たに、日に新たに、又日に新たなり」、つまり、一日一日を充実した新たな気持ちで、有意義に過ごすことの大切さを説いています。中国に興味のある人は、恐らく一度は目にしたことがあると思いますが、私はこれを座右の銘の一つとしています。

ところで、わが商大には、私にとって魅力的な点がいくつかあります。

① 一流講師による「夕学講座」

慶応MCCからの衛星による全国配信ですが、本学はその会場校の一つであり、毎回楽しみにしています。

② 全国8番目、中・四国地方初の「孔子学院」

昨年末、本学内に開設したが、中国語をはじめ、中国文化の紹介等を行っています。一昨年、私は中国広州市の華南師範大学で、日本語教師として一年間在留したが、帰国後も毎朝、ラジオ中国語講座等を聴いています。この「孔子学院」も期待の一つで、できる限り活用したいと思っています。

③ アジアに視点を置いた「アジアビジネス専攻」

アジア、特に、近くの大国・中国(日本の人口の10倍、面積は26倍)に目を向けた当専攻は誠に時宜を得たものであります。

その他、新聞紙上等で興味がある講演の案内があれば、可能な限り申

し込み、聴講に行きます。地域の公民館でも各種の講座に参加し、顔馴染みが増えてきました。TV番組では、自然遺産や旅番組が大好きで、「世界・ふしぎ発見」「世界ウルルン滞在記」やその他、「カンブリア宮殿」、「プロフェッショナル」、「ソロモン流」、「ガイアの夜明け」等ビジネスマン必見の番組も面白く、授業でもよく活用しています。

商学部 講師 武元卓巳



華南師範大学内の孔子像

また、「忙中閑あり」ではないが、暇を見つけては近くのスポーツクラブに通い、マシン、ランニング等で健康保持に努めています。と同時に、太極拳、ヨガ等を通して、同好の仲間も増加し、そこでの雑談がほとんどになる日も時にあります。20年以上も前から続けている詩吟も、健康のためと考えています。昔「人生五十、功無きを愧ず…」も、今や寿命が延び、日本は世界に冠たる「人生八十」の時代になりました。「功」は求めるところではありませんが、充実した人生を、と願うばかりです。

作家の視点

石井敏弘

江戸川乱歩賞作家
本学非常勤講師
(第十七期商学部卒)

ネット上でのいじめ

インターネットが普及し、携帯電話からのアクセスが当たり前になった現代、やはり起こるべくして起きた問題、それが「ネットいじめ」でしょう。今、問題になっているのは中高校の裏サイトや、また生徒個人が開設しているサイトへの書き込みによる誹謗中傷ですが、これらの子供たちだけの問題として考えるのは、明らかに間違っています。このシステム、この社会を作ったのは大人たちであり、子供たちの行動はそれを正確にコピーしているに過ぎないからです。このような事態は、すでに大人社会では起きていたのであり、子供たちの起こすこれらの問題を云々する前に、まず大人社会が責任に目覚める必要があるのではないのでしょうか。

インターネットは基本的に「自由」が保証されている世界です。とりわけ言論の自由です。しかし、この自由がすでに暴力として乱用されていないか。

匿名による誹謗中傷は、「誰がやっているのか分からない」不安から、他人を信用できなくさせ、被害者を精神的孤立に追いやっています。書き込みする加害側の人間は、「絶対に安全な場所」から、ただ一方的に相手を傷つけ、何度でも憂さを晴らすことができます。この被害者の孤独感と、加害者の心の乾きを、なんと表現すればよいのでしょうか。

この問題を解決するには、二つの方法しかありません。一つはネット社会の「自由」へある制限を加えること。書き込みの内容をチェックし、悪しきものを自動的に排除するようなシステムをとるか、匿名性を希薄にするか。

もう一つは……。これは形を変えた心の問題だということですが、すでにあったいじめや、校内暴力、家庭内暴力、非行、そういったものとまったく同種の問題であり、所詮、そういった具体的な行動を起こす若者の心が癒されないかぎり解決しない問題だという認識を持ち、私たち一人一人がまずわが子から、人を尊重でき、愛することのできる人間に育てる努力をしなければならぬでしょう。人間関係の最小単位、家族から。

イチオシ!
この一冊

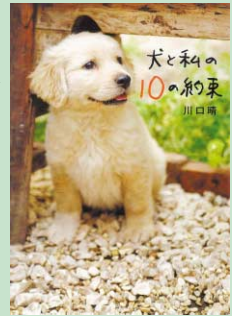
「私を信じてください。それだけで私は幸せです」「あなたには学校があるし友達もいます。でも私にはあなたしかいません」・・・

犬と暮らす心得を記した「犬の十戒」。元は英語で書かれた作者不明の詩です。この詩を基に一つの物語が書かれました。日常の中で繰りひろげられる、人と犬とのふれ合いの日々、家族の繋がりなどを少女の視点で心の成長と共に、丁寧に、そして素直に語られている感動作です。

主人公は12歳の女の子。ある日、その子の前に1匹の仔犬が現れます。犬を飼う事を許された彼女は母親から「これだけは守ってね。」と犬を飼う時に交わす犬との10の約束を教えられます。約束を守ると誓う女の子。しかし、友人が増え、恋をし、進学に就職へと成長する中で、次第に約束は忘れられていきます。

私も犬を飼っているので、改めて彼への接し方を考えさせられました。通して読んでも1時間ほどで読めるとても読みやすい作品です。可愛いレトリバーの写真も満載で絵本のような感覚で読めます。しかし、愛について、命について、絆について、犬だけではなく他の動物や人間同士にもあてはまる大切な事を感じられる一冊です。ぜひハンカチを手に読んでみて下さい。

(図書課 笠原亜弓)



『犬と私の10の約束』 川口 晴/著 2007年7月発行・文芸春秋

2008年度学生定期健康診断

下記のとおり実施しますので全員受診されますようご案内します。
記

- ①月・日 4月 4日(金) 4年生・院生・研究生
4月 7日(月) 1年生
4月 9日(水) 2・3年生
4月10日(木) 2・3年生
4月11日(金) 予備日

②時 間 8:40から16:00

③場 所 6号館1階

注! 4月4日・7日・11日のみ胸部レントゲン撮影を実施しますので、1年生・3年生介護等体験受講者・4年生就職希望者は、全員受診すること。

卒業パーティの開催

学生会4本部では、卒業式後に「卒業記念パーティ」を企画いたしました。お世話になった教職員の方々と名残を惜しんでいただき、卒業生の皆様の心に残るものにしたいと思っております。つきましては、一人でも多くの方に参加していただきたく、知人・友人お誘い合わせのうえご出席いただきますようお願い致します。

- 日 時 2008年3月22日(土)
- 場 所 岡山商科大学 学生会館食堂1階・2階
- 参加費 無料
- お問い合わせ 卒業記念パーティ実行委員
☎086-256-6852 (代表 坂田)

人事異動

12月31日付 退職
学生部学生課 事務職員 本谷 修

岡山商科大学における公的研究費の不正使用防止に対する取り組みについて

本学を始め多くの大学等研究機関においては、文部科学省及び日本学術振興会等の公的機関からの補助金を利用して、様々な研究が行われています。こうした公的の研究費に基づく研究は、その研究成果を広く社会に還元するよう求められると同時に、その資金の適切な使い方が求められています。しかしながら、近年、一部の研究機関において、研究費の不正使用が発生し、社会問題となっています。

本学では、所属する研究者が公的研究費への理解をする上で必要な説明会を実施すると共に、適切に資金支出が行われるよう、様々な制度を設けています。また、本学における研究費に対する責任体制及び相談窓口を明確に定め、不正使用防止に努めています。

<公的研究費に対する責任体制>

最高管理責任者	学 長 井尻昭夫	研究費の適正な運営・管理について最終責任を負う
統括管理責任者	産学官連携センター長 大崎紘一	研究活動の運営及び管理について統括する実質的な責任と権限を持つ
部 局 責 任 者	事務局長 土井宏輔	研究費の実質的な責任と権限を持つ

(岡山商科大学公的研究費不正使用防止内規に基づく)

<公的研究費に関連する規程>

規 程 名 称	制定時期
岡山商科大学科学研究費補助金に係る内規	平成19年 4月
岡山商科大学科学研究費補助金内規取扱	平成19年 4月
岡山商科大学公的研究費不正使用防止内規	平成19年11月
岡山商科大学における物品購入等契約に係る取引停止等内規	平成19年11月

<公的研究費の事務処理手続きに関する相談窓口>

岡山商科大学総務企画課 ☎086-256-6651

学内研究会開催状況

従来から開催されてきた学内3研究会を今年度より「自主的FD」として位置づけ、学報で公表していくことになりました。3研究会の開催状況(報告者氏名・報告題目・開催日)は以下のとおりです。(副学長 山口博幸)

- 【商学研究会】 中原敬介「認知言語学なんてムズカシイことを商大の英語の授業でやるとド〜なるか!?!」2007/11/17
ピアズ・ダウディング「火縄銃を再考する」2007/12/21
- 【法律研究会】 岡田洋一「著作権の保護期間に関する考察」2007/6/27
- 【経済学研究会】 田中勝次「産業連関表から見た岡山経済」2007/5/23
福田 亘「社会経済システムの変遷と今後の方位」2007/6/27
山下賢二「知的所有権保護が経済成長ならびに労働市場に与える影響について」2007/7/25
小塚匡文「わが国における投資行動と調整費用～業種別データによる検証～」2007/10/24
西山 徹「サムエル・ハートリブと普遍的信用～17世紀イングランドにおける銀行設立計画と普遍言語運動～」2007/11/28
西 敏明「食の安全・安心と品質経営の役割について」2007/12/12

麻疹(はしか)の感染についての注意

本学では、昨年、麻疹による全学休講措置が取られました。2008年も麻疹の流行が予想されています。「麻疹の感染についての注意」を本学ウェブサイトに及び学内掲示しておりますのでご覧下さい。なお、本学では麻疹の未罹患及びワクチン未接種の方へはワクチンの接種をお勧めします。

●麻疹に関するお問い合わせ:岡山商科大学学生課厚生係 ☎086-256-6696

●ご意見・ご感想等は、総務企画課学報担当まで E-Mail/gakuho@po.osu.ac.jp

発行所

岡山商科大学
〒700-0186 01 岡山市津島京町2丁目10-1
電話(086)2562106 422(代)

印刷

山陽印刷株式会社